

## News Release

本記事はアストラゼネカ英国本社が 2019 年 2 月 14 日に発信したプレスリリースを日本語に翻訳し、みなさまのご参考に提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容・解釈については英語が優先します。

### AstraZeneca PLC 2018 年第 4 四半期・通年業績

複数の新薬上市と商業化の実践により、通年の売上増と非常に堅調な四半期業績を達成  
2019 年は、営業レバレッジおよび売上ともに前年度比改善の年になると予想

2018 年度最終四半期は、製品売上が 5%増加し（CER ベース<sup>1</sup>では 8%増）、57 億 6,800 万ドルと非常に堅調な業績を達成しました。通年では、複数の新薬<sup>2</sup>の業績（81%増）と新興市場における持続的な成長（12%増、CER ベースでは 13%増）を反映し、製品売上は 4%増の 210 億 4,900 万ドルを達成しました。中国の売上は通年で 28%増加しました（CER ベースでは 25%増）。2018 年度のオンコロジーの売上は 50%増加し（CER ベースでは 49%増）、タグリットとリムパーザ各々の売上が倍増したことに加え、イミフィンジも有望な業績を示しました。また、ファセンラも、上市した諸国において堅調な業績を示し、通年ベースで初となる売上は 2 億 9,700 万ドルに達しました。

EPS（1 株当たり利益）は低税率の恩恵を受けました。パイプラインは更なる良好な進展を果たし、2019 年も多くのニュース配信が予想されます。

#### ファイナンシャルサマリー

	2018 年通年			2018 年第 4 四半期		
	100 万ドル	増減 (%)		100 万ドル	増減 (%)	
		実質	CER		実質	CER
製品売上	21,049	4	4	5,768	5	8
社外提携収入	1,041	(55)	(55)	649	n/m	n/m
総売上高	22,090	(2)	(2)	6,417	11	14
報告ベース営業利益 <sup>3</sup>	3,387	(8)	(7)	1,077	57	54
中核営業利益 <sup>4</sup>	5,672	(17)	(17)	2,192	23	23
報告ベース 1 株当たり利益 (EPS)	\$1.70	(28)	(29)	\$0.82	(21)	(22)
中核 EPS	\$3.46	(19)	(19)	\$1.58	22	22

#### 最高経営責任者（CEO）パスカル・ソリオの業績に関するコメント：

「アストラゼネカは、第 4 四半期の優れた業績とともに今年度を終え、成長への回帰を確実なものにしました。特に、複数の新薬はすべての治療領域において優れた業績を達成し、新興市場のビジネスは一段と力強く成長しました。2019 年は継続的にパイプラインを進展させるとともにコマーシャル活動の完璧な実践に注力する年となります。新薬の売上実績は、パイプラインの開発品目を医薬品として成功裏に市場に届けた当社コマーシャル部門の実力を示すものでした。

アストラゼネカは、戦略的開発の新たな段階を迎えており、将来へ向けた旅路における位置づけを明確にするため、このたび組織を改編しました。この変革は、すでに業界で最も有望かつ生産的なパイプラインのひとつであると自負する当社パイプラインを統合させることで、研究と開発を更に統合し、意思決定と新薬の上市を加速させることを目的としています。また、当社コマーシャル部門を強化し研究開発部門との協業をさらに促すことで、主要

## News Release

治療領域への注力を高めることが可能になります。アストラゼネカは今後、持続的な成長期間に移行し、より機敏で、協調的かつ集中力の高い企業となることを目指しています。

当社の戦略および計画に変更はなく、売上拡大とコスト管理に注力し続けることで、営業利益の伸長をけん引していく予定です。当社戦略および計画が完全に軌道に乗り、持続可能な成長水準と世界中のより多くの患者さんに貢献するパイプラインを構築していることを喜ばしく思います」。

### 財務ハイライト

- 通年の製品売上は4%増加し、210億4,900万ドル。新薬数製品がCERベースで28億ドルの増分売上を達成。通年の総売上高は、社外提携収入が55%減の10億4,100万ドルとなった影響を受け2%減の220億9,000万ドルでした。前年度比の売上は、リムパーザに関するMSDとの提携<sup>5</sup>の一環として2017年度に認識された最初の社外提携収入9億9,700万ドルの影響を一部反映しています。
- 報告ベースの総利益率は、バイオ医薬品製造施設に関連した再構築費用、2017年上半期に認識された製造分散のプラス影響ならびにリムパーザに関するMSDとの提携を一部反映し、通年で3ポイント減の77%でした。中核総利益率は2ポイント減少し80%でした。
- 報告ベースの通年営業費用の総額は162億9,400万ドルで変動なし（CERベースでは1%減）。中核ベースの営業費用の総額は5%増（CERベースでは4%増）の142億4,800万ドルでした。
  - 報告ベース研究開発費は通年で3%増加し59億3,200万ドルでした。これには、MEDI0680関連費用の4億7,000万ドルを含む5億3,900万ドルの無形資産減損費が含まれます。中核研究開発費は経費効率化およびリソース最適化により3%減の52億6,600万ドルでした。
  - 通年報告ベース販売・一般管理費は2%減少し、100億3,100万ドル（CERベースでは3%減）でした。中核販売・一般管理費は新薬数製品および中国の成長への投資を反映し10%増の86億5,100万ドル（CERベースでは9%増）でした。
- 報告ベースのその他営業収入・経費は、売却取引を反映し、38%増の25億2,700万円でした。一方、中核その他営業収入・経費は通年で10%増加し21億4,700万ドルでした。報告ベースと中核業績の差は主に本年上半期の訴訟和解金によるものです。
- 通年の事業再構築費は6億9,700万ドルに減少（2017年度：8億700万ドル）。当社は、製造ネットワークの更なる効率化を進めるため、米国コロラド州にある2つのバイオ医薬品製造拠点の閉鎖を決定しました。閉鎖に伴い、その大半が現金以外の費用と考えられる4億ドルの臨時再構築費用の発生を想定しています。本費用のうち3億ドルは拠点関連資産および在庫の減損として、2018年度に認識されています。
- 資本支出は10億4,300万ドルに減少しました（2017年度：13億2,600万ドル）。
- 通年の報告ベースEPSは28%減（CERベースでは29%減）の1.70ドルでした。報告ベースおよび中核EPSの双方が、主に社外提携収入および総利益率の減少による影響

## News Release

---

を受けました。

- 中核 EPS は、最近発表されたオランダの法人所得税率の引き下げにより生じた繰延税金に対する 2 億 4,500 万ドルのプラス調整を反映し、中核税率が 11%に低下したことによるプラス影響にもかかわらず 19%減少して 3.46 ドルでした。この法人所得税率の引き下げは 2018 年 12 月に成立し、1 株当たり 0.19 ドルに相当します。BRCA 遺伝子変異陽性 (BRCAm) 進行卵巣がんの初回維持療法としてのリムパーザの米国での迅速薬事承認に関連する MSD からの 7,000 万ドルのマイルストーン収入は予想より早く受領しました。
- 取締役会は当社の累進的配当方針の堅持を再確認しました。1 株当たり 1.90 ドルの第 2 回配当が新年に公表され、年間配当は変更なく 1 株当たり 2.80 ドルでした。

### 営業ハイライト

- オンコロジー：下記を含む通年売上は 50%成長し、60 億 2,800 万ドル (CER ベースでは 49%増)。
  - タグリツンの売上は、EGFR<sup>6</sup> T790M 変異陽性<sup>7</sup> 非小細胞肺癌 (NSCLC)<sup>8</sup> の 2 次治療における使用拡大および EGFR 変異陽性 (EGFRm) 非小細胞肺癌の 1 次治療における新たな標準治療 (SoC) として 2018 年に複数国で承認を得たことにより、95%増の 18 億 8,600 万ドル (CER ベースでは 93%増) でした。2018 年度の実績から、タグリツンは、2019 年にはアストラゼネカにおいて最大規模の売上を有する医薬品となると予想されます。
  - イミフィンジの売上は、切除不能なステージ III NSCLC の治療薬としての複数国における継続的な上市を反映し、6 億 3,300 万ドル (2017 年度：1,900 万ドル) でした。イミフィンジの売上の大半は米国で達成され、他マーケットにおける新たな上市の良好な影響は、今後反映される見込みです。
  - リムパーザの売上は、プラチナ感受性再発卵巣がんへの適応拡大及び乳がん治療薬としての複数の承認にけん引され、118%成長し 6 億 4,700 万ドル (CER ベースでは 116%増) でした。米国における BRCAm 卵巣がん患者さんの 1 次治療としての直近の承認取得により、更なる使用拡大が予想されます。
- New CVRM<sup>9</sup>：下記を含む通年売上は 12%成長し、40 億 400 万ドル。
  - フォシーガ (米国製品名：Farxiga) の売上は、新興市場における 45%の売上増 (CER ベースでは 52%増) による 3 億 3,600 万ドルを含め、全体では 30%増の 13 億 9,100 万ドルでした。
  - ビデュリオンの売上は、本年の米国における有望な ビデュリオン BCise の上市を反映し、2%増の 5 億 8,400 万ドル (CER ベースでは 1%増) でした。2018 年第 4 四半期の総売上高は、進行中の生産制限を反映し 6%減少し、1 億 3,800 万ドル (CER ベースでは 5%減) でした。
  - ブリリンタの売上は、急性冠症候群とハイリスク術中心筋梗塞 (HRPMI) 市場に対する継続的な浸透により、22%増の 13 億 9,100 万ドル (CER ベースでは 21%増) でした。2018 年第 4 四半期の総売上高は、26%増加し 3 億 7,600 万ドル

## News Release

---

(CER ベースでは 29%増) でした。

- 呼吸器：下記を含む通年売上は 4%増の 49 億 1,100 万ドル (CER ベースでは 3%増)。
  - シムビコートの売上は、市場シェアは伸びたものの米国における競合クラスからの圧力により、9%減の 25 億 6,100 万ドル (CER ベースでは 10%減) となり、中国での売上は 36%増の 2 億 4,000 万ドル (CER ベースでは 32%増) でした。
  - パルミコートの売上は 9%増の 12 億 8,600 万ドル (CER ベースでは 8%増)。
  - ファセンラの売上は 2 億 9,700 万ドル (2018 年第 4 四半期：1 億 2,500 万ドル) となり、重症喘息治療薬の IL-5 クラスにおいて首位の地位を固め、上市された諸国において非常に良好な業績を示しました。
- 新興市場：下記を含む当社の製品売上最大地域の通年売上は 12%増の 68 億 9,100 万ドル (CER ベースでは 13%増)。
  - 中国の売上は 28%増の 37 億 9,500 万ドル (CER ベースでは 25%増) でした。中国の 2018 年第 4 四半期の売上は、2017 年第 4 四半期の売上が前年比 33%増加 (CER ベースでは 30%増) したのに対し、17%増の 9 億 4,800 万ドル (CER ベースでは 22%増)。一部 2017 年の中国でのタグリツンの上市に支えられ、中国のオンコロジーの通年売上は 44%増の 8 億 1,000 万ドル (CER ベースでは 41%増) でした。なお、タグリツンは中国の償還医薬品リスト (NRDL) に EGFRm T790M 変異陽性 NSCLC の 2 次治療として収載されました。
  - 中国以外の売上は、売却による製品売上の喪失による影響を一部受け、3%減の 30 億 9,600 万ドル (CER ベースでは 1%増) でした。しかし、本四半期、中国以外の地域では売却の影響が縮小したため、大幅に業績が改善され、すべての新興市場構成地域で CER ベースの売上が増加し、中国を除く新興市場は 8 億 1,800 万ドルの安定した総売上を達成しました (CER ベースで 10%増)。本四半期の顕著な業績にはブラジルの売上 (変動なし、CER ベースでは 23%増) および (中国を除く) アジア太平洋地域の売上 (10%増、CER ベースでは 13%増) が含まれます。

### 組織変更

アストラゼネカは、戦略的発展の新たなフェーズに入ったことから、2019 年 1 月、サイエンスイノベーションとビジネスにおける成功をさらに確実にするための組織変更を発表しました。

新体制下では、創薬から後期開発までの研究開発 (R&D) 機能を、オンコロジーとバイオ医薬品 (バイオフーマ) に集約します。オンコロジー R&D は、同分野において世界的な専門家として名高い José Baselga が、バイオフーマ R&D は、当社の革新的医薬品・早期開発バイオテク部門の責任者を務めてきた Mene Pangalos が統率します。

同様のアプローチは、当社コマースにも適用されました。オンコロジーのコマース部門は引き続き Dave Fredrickson が、バイオフーマのコマース部門は、直近まで当社北米コマース部門の責任者を務めてきた Ruud Dobber が統率します。新興市場のコマース部門は引き続き Leon Wang が統率します。

組織再編の目的は下記のとおりです。

- 当社の主要治療領域への注力を更に高める

## News Release

- 機敏な意思決定とより柔軟なリソース配分に向けて R&D 機能を統合する
- R&D とコマーシャル間の協働を拡大する

R&D およびコマーシャル部門はそれぞれアストラゼネカのシニアエグゼクティブチーム（経営陣）に参画し、最高経営責任者（CEO）の直属となります。両部門は、効率化に向けて基礎生物学およびサイエンスの基盤や医薬品の供給・製造ならびに IT インフラストラクチャーなどの多くの共通の分野を共有します。これらのリソースは、各治療領域の状況および全体的な戦略によって全社規模で継続的に配分されます。

本組織再編は、持続的成長期に移行したアストラゼネカが、今後全社をあげてより機敏かつ協力的な組織となり、主要治療領域への注力を高めていくことを目的としています。詳細は、英語原文発表の「コーポレート&事業開発」をご参照ください。

### パイプラインハイライト

下記の表は前回業績発表以降の後期段階パイプラインの重要な展開を示すものです。

薬事承認	<ul style="list-style-type: none"> <li>- リムパーザ – 卵巣がん（1次治療）（SOLO-1 試験）：薬事承認（米国）</li> <li>- roxadustat – 透析患者における貧血：薬事承認（中国）</li> <li>- Bevespi – COPD<sup>10</sup>：薬事承認（EU）</li> <li>- Linzess (linaclotide) – 便秘合併炎症腸症候群（IBS-C）：薬事承認（中国）</li> </ul>
薬事承認申請 および・または 受理	<ul style="list-style-type: none"> <li>- イミフィンジ – 切除不能ステージ III NSCLC：薬事承認申請（中国）受理（OS<sup>11</sup> データ）（米国）</li> <li>- フォシーガ – 1型糖尿病：薬事承認申請受理（米国）</li> <li>- ファセンラ – 重症好酸球性喘息：自己投与 申請受理（米国、EU）</li> </ul>
主な第 III 相データ Readouts または その他の主な展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>- タグリッソ – EGFRm NSCLC（1次治療）：優先審査（中国）</li> <li>- イミフィンジ +/- treme – NSCLC（1次治療）（MYSTIC 試験）：OS 主要評価項目未達成</li> <li>- イミフィンジ +/- treme – 頭頸部がん（2次治療）：OS 主要評価項目未達成</li> <li>- リムパーザ – 卵巣がん（1次治療）（SOLO-1 試験）：優先審査（中国、日本）</li> <li>- リムパーザ – 卵巣がん（3次治療以降）：奏効率主要評価項目達成</li> <li>- フォシーガ - 1型糖尿病：CHMP<sup>12</sup> 肯定的見解（EU）</li> <li>- roxadustat – CKD<sup>13</sup> の貧血：主要有効性評価項目達成</li> <li>- ファセンラ – 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症：希少疾病用医薬品指定（米国）</li> <li>- ファセンラ – 好酸球増加症候群：希少疾病用医薬品指定（米国）</li> <li>- PT010 – COPD：優先審査（中国）</li> <li>- MEDI8897 – 下気道感染：画期的治療薬指定（米国）、PRIME<sup>14</sup> 指定（EU）</li> </ul>

## News Release

### 2019 年度ガイダンス

当社は本日 2019 年度のガイダンスを提供します。本項の全ての数字は恒常為替レート (CER) に基づくものです。当社は製品売上および中核 EPS に関してのみガイダンスを提示します。提供されるすべてのガイダンスおよび指標は近い将来予定されている英国の欧州連合からの離脱を前提としていますが、離脱しなかった場合においても、その結末に対し当社はすでに広範な準備を行っているため、その影響の範囲は想定内であると考えています。

製品売上	1 桁台後半の増加
------	-----------

前述の製品売上の成長に加え、当社は 2019 年度に生産性向上と営業レバレッジを予測しています。対前年度比社外提携収入額およびその他営業利益・経費が減少することが予想されるにもかかわらず、中核営業利益は製品売上よりも早いペースで成長することが見込まれます。更なる詳細は下記に示します。

中核 EPS	\$3.50 から \$3.70
--------	------------------

2018 年度の中核税率が低率であったため、2019 年度の中核 EPS は中核税率の上昇により影響を受けることが予想されます。下記に示す 2019 年度の当該率は、予想される利益の地理的構成ならびに 2019 年度に完了すると見込まれる社外提携および売却案件の影響を反映しています。

四半期間の業績変動は継続すると予想されます。買収関連債務により生じる公正価格調整、無形資産減損費用および訴訟和解引当金を含む報告ベースの結果の重要な要素を正確に予測することはできませんので、報告ベースのガイダンスならびに指標を提供することは不可能です。英語原文発表の末尾「将来予想に関する記述についての警告文」をご参照ください。

### 2019 年度指標

ガイダンスに加えて、当社是对前年度比の 2019 年度の指標を CER ベースで提示します。

- 当社は、長期成長戦略の一環として、パイプラインの持続的生産性および主要治療領域への焦点の強化を反映する現金創出および価値増大に資する適切な社外提携活動に注力し続けています。しかし、社外提携収入額および中核その他営業収入・経費は対前年度比で減少することが見込まれます。
- 中核その他営業利益・費用は 1 桁台前半の伸びが予想されます。新薬上市および中国の売上への特定の支援は 2018 年度に非常に優れた結果を生み出し、その支援は継続します。当社は投資における柔軟性を維持します。
- 中核営業利益は対前年度比製品売上よりも高い 1 桁台半ばの率で増加すると予想されません。
- 資本支出は概ね安定すると予想され、事業再構築費用は対前年度比の減少を目標としています。

## News Release

---

- 中核税率は 18-22% (2018 年度 : 11%)。

### 為替の影響

当社の為替感度分析は英文原本の営業・ファイナンシャルレビューの項に含まれており、2019 年 2 月から 12 月までの為替レートが 2019 年 1 月の平均為替レートの水準にあれば製品売上および中核 EPS に対し 1 桁台前半の為替変動によるマイナス影響を予想していません。

### 持続可能性

アストラゼネカの持続可能性に関する目標は、サイエンスへのアクセスを可能にするとともに、ビジネスの成長と社会のニーズおよび地球資源の限界について、その相互関連性を理解した上で事業活動を実践していくことです。当社の持続可能性に関する目標は、当社ビジネスモデルに本来備わっている共通の目的と行動指針（バリュー）により強化され、その戦略を実行することで医薬品へのアクセスを拡大し、医薬品およびプロセスの環境的フットプリントを最小化し、すべての事業活動が最高水準の倫理と透明性によって支持されていることを担保します。当社の持続可能性に関する進捗の最新情報の詳細については英語原文発表の「持続可能性」の項をご参照ください。

注：

下記の注釈は 1 ページから 5 ページまでに関するものです。

1. 恒常為替レート：これらは報告ベースの結果から為替変動の影響を除外しているため一般に公正妥当と認められている会計原則（GAAP）とは異なる指標です。
2. タグリツ、イミフィンジ、リムパーザ、Calquence、Lumoxiti、フォシーガ、ブリリント、Lokelma、ファセンラおよび Bevespi。これらの新薬は主要治療領域の柱であるとともに今後の成長の重要な基盤です。
3. 報告ベースの財務指標は欧州連合により報告され、国際会計基準審議会により発行された国際会計基準に準拠して提示された財務業績です。
4. 中核財務指標：これらは報告ベースの業績とは異なり、グループの財務諸表にある情報から直接算出できないため GAAP とは異なる指標です。中核財務指標および中核ベースから報告ベースへの財務指標の調整の定義は、英文原本の営業・ファイナンシャルレビューを参照ください。
5. 北米以外では MSD として知られる米国ニュージャージー州ケニルワースを拠点とするメルク社
6. 上皮成長因子受容体
7. エクソン 20 の 790 番目のアミノ酸トレオニン（T）のメチオニン（M）による置換変異
8. 非小細胞肺癌
9. New Cardiovascular, Renal and Metabolism（循環器・代謝疾患）領域には、複数の糖尿病治療薬、ブリリントおよび Lokelma が含まれます。
10. 慢性閉塞性肺疾患
11. 全生存期間
12. 欧州医薬品庁（EMA）の医薬品審査を担当する委員会（CHMP）
13. 慢性腎臓病
14. 優先医薬品

## News Release

### パイプライン：予定されている主なニュース

イノベーションはアンメット・メディカルニーズへの解消に不可欠であり、当社の成長戦略の中心にあります。研究開発への集中はパイプラインの強い結果を生み出すことを目的としています。

2019年 上半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>- タグリツソ – EGFRm NSCLC (1次治療) : 規制当局判断 (中国)</li> <li>- イミフィンジ +/- treme – 頭頸部がん (1次治療) : data readout、薬事承認申請</li> <li>- リムパーザ – 乳がん : 規制当局判断 (EU)</li> <li>- リムパーザ – 膵臓がん : data readout</li>   <li>- ブリリンタ – CAD<sup>15</sup> / 2 型糖尿病 CVOT<sup>16</sup> : data readout</li> <li>- フォシーガ – 1 型糖尿病: 規制当局判断 (EU、日本)</li> <li>- フォシーガ – 2 型糖尿病 CVOT: 薬事承認申請</li> <li>- roxadustat – 貧血: data readout (統合安全性データ)、薬事承認申請 (米国)</li>   <li>- Duaklir – COPD: 規制当局判断 (米国)</li> </ul>
2019年 下半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>- タグリツソ – EGFRm NSCLC (1次治療) : data readout (最終 OS)</li> <li>- イミフィンジ - 切除不能ステージ III NSCLC : 規制当局判断 (中国)</li> <li>- イミフィンジ + treme – NSCLC (1次治療) (NEPTUNE 試験) : data readout、薬事承認申請</li> <li>- イミフィンジ +/- treme – NSCLC (1次治療) (POSEIDON 試験) : data readout、薬事承認申請</li> <li>- イミフィンジ +/- treme – 小細胞肺がん : data readout、薬事承認申請</li> <li>- イミフィンジ +/- treme – 膀胱がん (1次治療) : data readout、薬事承認申請</li> <li>- リムパーザ – 卵巣がん (1次治療) (SOLO-1 試験) : 規制当局判断 (EU、日本、中国)</li> <li>- リムパーザ – 膵臓がん : 薬事承認申請</li> <li>- リムパーザ – 卵巣がん (1次治療) (PAOLA-1 試験) : data readout</li> <li>- リムパーザ – 前立腺がん (2次治療、去勢抵抗性) : data readout</li> <li>- Calquence – CLL<sup>17</sup> : data readout、薬事承認申請</li> <li>- selumetinib – NF1 : 薬事承認申請</li>   <li>- ブリリンタ – CAD / 2 型糖尿病 CVOT : 薬事承認申請</li> <li>- フォシーガ – 1 型糖尿病 : 規制当局判断 (米国)</li> <li>- Lokelma – 高カリウム血症 : 薬事承認申請 (日本)</li>   <li>- シムビコート – 中等症喘息 : 規制当局判断 (EU)、薬事承認申請 (中国)</li> <li>- Bevespi – COPD : 規制当局判断 (日本、中国)</li> <li>- ファセンラ – 自己投与 : 規制当局判断 (米国、EU)</li> <li>- PT010 – COPD : 規制当局判断 (日本、中国)、薬事承認申請 (米国、EU)</li> <li>- PT010 – COPD : data readout (ETHOS 試験)</li> </ul>
2020年	<ul style="list-style-type: none"> <li>イミフィンジ – NSCLC 術前補助療法 : data readout</li> <li>リムパーザ – 卵巣がん (1次治療) (PAOLA-1 試験) : 薬事承認申請</li> <li>リムパーザ – 前立腺がん (2次治療、去勢抵抗性) : 薬事承認申請</li>   <li>ブリリンタ – 脳梗塞 : data readout、薬事承認申請</li> <li>フォシーガ – 心不全 CVOT : data readout、薬事承認申請</li> </ul>



## News Release

フォシーガ – CKD: data readout  Epanova – 高トリグリセリド血症 CVOT : data readout Lokelma – 高カリウム血症 : 薬事承認申請 (中国) roxadustat – 骨髄異形成症候群に伴う貧血 : data readout  ファセンラ – 鼻茸 : data readout、薬事承認申請 tezepelumab – 重症喘息 : data readout
--

<sup>15</sup> 冠動脈疾患

<sup>16</sup> 心血管アウトカム試験

<sup>17</sup> 慢性リンパ性白血病

### コンファレンスコール

投資家およびアナリスト向けのコンファレンスコールおよびウェブキャストを英国時間 2 月 14 日 12 時に実施しました。詳細は [www.astrazeneca.com/investors](http://www.astrazeneca.com/investors) からアクセス可能です。

### 業績発表日程

当社は 2019 年 4 月 26 日に第 1 四半期財務業績を発表する予定です。

### 製品売上高

主要医薬品の業績を以下に示します。

**Table 1: 2018 年通年の治療領域別製品別売上**

治療領域	製品	2018 年通年			
		100 万ドル	対総売上 比率(%)	%増減	
				実質	CER
オンコロジー	タグリッソ	1,860	9	95	93
	リムパーザ	647	3	n/m	n/m
	イミフィンジ	633	3	n/m	n/m
	イレッサ	518	2	(2)	(4)
	Calquence	62	-	n/m	n/m
	LEGACY:				
	フェソロデックス	1,028	5	9	9
	ゾラデックス	752	4	2	2
	アリミデックス	212	1	(2)	(3)
	カソデックス	201	1	(7)	(8)
	その他	115	1	1	(1)

## News Release

	オンコロジー合計	6,028	29	50	49
CVRM	フォシーガ	1,391	7	30	30
	ブリリンタ	1,321	6	22	21
	ビデュリオン	584	3	2	1
	オングリザ	543	3	(11)	(11)
	バイエッタ	126	1	(28)	(28)
	Symlin	34	-	(29)	(29)
	LEGACY:				
	クレストール	1,433	7	(39)	(40)
	セロケン//Toprol-XL	712	3	2	4
	Atacand	260	1	(13)	(12)
	その他	306	1	(11)	(12)
	<b>CVRM 合計</b>	<b>6,710</b>	<b>32</b>	<b>(8)</b>	<b>(8)</b>
呼吸器	シムビコート	2,561	12	(9)	(10)
	パルミコート	1,286	6	9	8
	ファセンラ	297	1	n/m	n/m
	Daliresp/Daxas	189	1	(5)	(5)
	Tudorza/Eklira	110	1	(27)	(29)
	Duaklir	95	-	20	14
	Bevespi	33	-	n/m	n/m
	その他	340	2	20	18
	<b>呼吸器合計</b>	<b>4,911</b>	<b>23</b>	<b>4</b>	<b>3</b>
その他	ネキシウム	1,702	8	(13)	(14)
	シナジス	665	3	(3)	(3)
	セロクエル XR/IR	361	2	(29)	(31)
	Losec/PriLOSEC/オメプラール	272	1	-	(2)
	フルミスト/Fluenz	110	1	41	44
	Movantik/Moventig	109	1	(11)	(11)
	その他	181	1	(66)	(67)
	<b>その他合計</b>	<b>3,400</b>	<b>16</b>	<b>(18)</b>	<b>(19)</b>
<b>製品売上合計</b>	<b>21,049</b>	<b>100</b>	<b>4</b>	<b>4</b>	

## News Release

スペシャリティケア医薬品はすべてのオンコロジー製品およびファセンラにより構成されています。製品売上の30%を占めるスペシャリティケア医薬品売上は通年で57%増加し（CERベースでは56%増）、63億2,500万ドルでした（2017年度：40億2,500万ドル）。

Table 2: 2018年第4四半期の治療領域別製品別売上

治療領域	製品	2018年第4四半期			
		100万ドル	対総売 比率 (%)	%増減	
				実質	CER
オンコロジー	タグリッソ	594	10	95	98
	リムパーザ	209	4	n/m	n/m
	イミフィンジ	262	5	n/m	n/m
	イレッサ	112	2	(14)	(11)
	Calquence	24	-	n/m	n/m
	LEGACY:				
	フェソロデックス	269	5	13	16
	ゾラデックス	182	3	(3)	3
	アリミデックス	46	1	(19)	(16)
	カゾデックス	46	1	(15)	(13)
	その他	23	-	(21)	(17)
	<b>オンコロジー合計</b>	<b>1,767</b>	<b>31</b>	<b>58</b>	<b>61</b>
CVRM	フォシーガ	397	7	20	24
	ブリリンタ	376	7	26	29
	ビデュリオン	138	2	(6)	(5)
	オングリザ	148	3	(18)	(15)
	バイエッタ	32	1	(33)	(31)
	Symlyn	10	-	(23)	(23)
	LEGACY:				
	クレストール	353	6	(41)	(38)
	セロケン/Toprol-XL	160	3	(5)	4
	Atacand	58	1	(21)	(14)
	その他	75	1	(12)	(8)
	<b>CVRM 合計</b>	<b>1,747</b>	<b>30</b>	<b>(10)</b>	<b>(6)</b>

## News Release

呼吸器	シムビコート	636	11	(15)	(13)
	パルミコート	389	7	5	9
	ファセンラ	125	2	n/m	n/m
	Daliresp/Daxas	54	1	2	4
	Tudorza/Eklira	19	-	(55)	(55)
	Duaklir	22	-	(4)	-
	Bevespi	10	-	25	25
	その他	107	2	26	32
	<b>呼吸器合計</b>	<b>1,362</b>	<b>24</b>	<b>2</b>	<b>5</b>
その他	ネキシウム	390	7	(9)	(6)
	シナジス	251	4	7	7
	フルミスト/Fluenz	75	1	29	33
	Losec/PriLOSEC/オメプラール	60	1	(13)	(9)
	セロクエル XR/IR	56	1	(65)	(64)
	Movantik/Moventig	25	-	(17)	(17)
	その他	35	1	(70)	(68)
	<b>その他合計</b>	<b>892</b>	<b>15</b>	<b>(18)</b>	<b>(17)</b>
	<b>製品売上合計</b>	<b>5,768</b>	<b>100</b>	<b>5</b>	<b>8</b>

## News Release

**Table 3: 地域別製品売上高**

	2018 年通年				Q4 2018 年第 4 四半期			
	100 万 ドル	対総売 上高比 (%)	%増減		100 万 ドル	対総売 上高比 (%)	%増減	
			実質	CER			実質	CER
新興市場 <sup>18</sup>	6,891	33	12	13	1,766	31	8	16
中国	3,795	18	28	25	948	16	17	22
中国以外	3,096	15	(3)	1	818	14	-	10
米国	6,876	33	11	11	2,037	35	15	15
ヨーロッパ	4,459	21	(6)	(10)	1,173	20	(9)	(7)
ROW 既成市場	2,823	13	(8)	(9)	792	14	-	1
日本	2,004	10	(9)	(11)	588	10	4	5
カナダ	489	2	1	-	131	2	-	4
その他 ROW 既成市 場	330	2	(15)	(14)	73	1	(27)	(22)
<b>合計</b>	<b>21,049</b>	<b>100</b>	<b>4</b>	<b>4</b>	<b>5,768</b>	<b>100</b>	<b>5</b>	<b>8</b>

<sup>18</sup> 新興市場を構成するのは、ブラジル、中国、インド、メキシコ、ロシア、およびトルコを含む既成市場以外の ROW 地域です

**Table 4: 新興市場の領域別製品売上高**

通年製品売上は 12%増の 68 億 9,100 万ドル (CER ベースでは 13%増)。2018 年第 4 四半期売上 17 億 6,600 万ドルは 8%増加し (CER ベースでは 16%増)、過去にみられた力強い 2 桁成長を継続しました。複数の新薬が新興市場の通年売上の 15%を占め、2017 年度の 10%を上回りました。

	2018 年度				2018 年第 4 四半期			
	100 万 ドル	対総売 上高比 (%)	%増減		100 万 ドル	対総売 上高比 (%)	%増減	
			実質	CER			実質	CER
オンコロジー	1,528	22	36	37	355	20	19	30
CVRM	2,695	39	14	15	691	39	12	21
呼吸器	1,644	24	18	18	497	28	17	25
その他	1,024	15	(19)	(19)	223	13	(23)	(21)
<b>合計</b>	<b>6,891</b>	<b>100</b>	<b>12</b>	<b>13</b>	<b>1,766</b>	<b>100</b>	<b>8</b>	<b>16</b>

新興市場全体の売上の 55%を占める中国の売上は通年で 28%伸長し 37 億 9,500 万ドル (CER ベースでは 25%増)、第 4 四半期には 17%増の 9 億 4,800 万ドルでした (CER ベー

## News Release

スでは22%増)。パルミコート、セロケン、クレストール、ネキシウム、およびシムビコートの堅調な業績に支えられ、複数の新薬が特に期待の持てる売上成長を達成しました。これら新薬は通年で中国の売上の11%を占め、2017年の7%を上回りました。

**Table 5: 米国の領域別製品売上高**

製品売上は68億7,600万ドルで11%増加。2018年第4四半期売上は15%増の20億3,700万ドル。複数の新薬が米国の通年売上の48%を占め、2017年度の26%を上回りました。今期の業績は、特に、タグリツソ、イミフィンジおよびリムパーザ等のオンコロジー領域の新製品の成功ならびに呼吸器領域のファセンラの堅調な業績を反映しています。

	2018年度			2018年第4四半期		
	100万ドル	対総売上高比(%)	%増減	100万ドル	対総売上高比(%)	%増減
オンコロジー	2,412	35	n/m	792	39	134
CVRM	2,206	32	(7)	604	30	(14)
呼吸器	1,416	21	(6)	386	19	(6)
その他	842	12	(28)	255	12	(20)
<b>合計</b>	<b>6,876</b>	<b>100</b>	<b>11</b>	<b>2,037</b>	<b>100</b>	<b>15</b>

**Table 6: ヨーロッパの領域別製品売上高**

通年製品売上は6%の減少し、44億5,900万ドル（CERベースでは10%減）。この減少は2017年に様々なヨーロッパ市場でのクレストール後発品の参入および継続する競合および価格圧力の影響を反映しています。クレストールの売上を除外すると、ヨーロッパの売上は4%増加し42億5,600万ドル（CERベースでは変動なし）。ヨーロッパのクレストールの売上は通年で70%下落し（CERベースでは71%減）2億300万ドルで、ヨーロッパの売上の5%を占めました。新薬数製品は通年で有望な業績を達成し、ヨーロッパの製品売上の28%を占め、2017年度の18%を上回りました。

	2018年通年				2018年第4四半期			
	100万ドル	対総売上高比(%)	%増減		100万ドル	対総売上高比(%)	%増減	
			実質	CER			実質	CER
オンコロジー	1,053	24	19	14	287	25	19	21
CVRM	1,230	27	(26)	(29)	295	25	(28)	(26)
呼吸器	1,229	28	1	(4)	307	26	(9)	(7)
その他	947	21	(5)	(8)	284	24	(6)	(3)
<b>合計</b>	<b>4,459</b>	<b>100</b>	<b>(6)</b>	<b>(10)</b>	<b>1,173</b>	<b>100</b>	<b>(9)</b>	<b>(7)</b>

## News Release

**Table 7: ROW 既成市場の領域別製品売上高**

製品売上は 28 億 2,300 万ドル、8%減（CER ベースでは 9%減）。複数の新薬が ROW 既成市場の通年売上の 24%を占め、2017 年度の 13%を上回りました。当期の業績は、特に、タグリツと フォシーガの成功を反映しています。

	2018 年通年				2018 年第 4 四半期			
	100 万 ドル	対総売 上高比 (%)	%増減		100 万 ドル	対総売 上高比 (%)	%増減	
			実質	CER			実質	CER
オンコロジー	1,035	37	16	14	333	42	38	38
CVRM	579	21	(33)	(34)	157	20	(24)	(22)
呼吸器	622	22	5	4	172	22	6	8
その他	587	21	(19)	(20)	130	16	(29)	(27)
<b>Total</b>	<b>2,823</b>	<b>100</b>	<b>(8)</b>	<b>(9)</b>	<b>792</b>	<b>100</b>	<b>-</b>	<b>1</b>

ROW 既成市場全体の売上の 71%を占める日本の売上は、9%減少し 20 億 400 万ドル（CER ベースでは 11%減。2018 年第 4 四半期の売上は 4%増加し、5 億 8800 万ドル、CER ベースでは 5%増）。2017 年に参入したクレストールの後発品の影響は予想より早く生じました。また、隔年の薬価改正も通年売上にマイナス影響をもたらしました。クレストールの売上を除外すると、日本の売上は 7%増加し 18 億 3,800 万ドルでした（CER ベースでは 5%増）。クレストールの日本の売上は 66%減少し（CER ベースでは 67%減）、日本の通年売上の 8%を占めました。タグリツの日本の通年売上は 45%伸長（CER ベースでは 43%増）し、3 億 1,700 万ドルでした。これは、第 3 四半期に承認を取得した 1 次療法としてのタグリツの使用拡大を反映しています。2 次治療の適応における検査と使用率の最大化に向けた焦点を絞った活動も製品売上の成長を支えました。

### アストラゼネカについて

アストラゼネカは、サイエンス志向のグローバルなバイオ・医薬品企業であり、主にオンコロジー、循環器・腎・代謝疾患、および呼吸器の 3 つの重点領域において、医療用医薬品の創薬、開発、製造およびマーケティング・営業活動に従事しています。当社は、100 カ国以上で事業を展開しており、その革新的な医薬品は世界中で多くの患者さんに使用されています。詳細については <http://www.astrazeneca.com> または、ツイッター@AstraZeneca（英語のみ）をフォローしてご覧ください。